

主要施策名：(3)行財政運営の効率化

事務事業本数：35

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
⑦健全な行政運営	(3)行財政運営の効率化		730-2	番号法関連事業	総務課
			730-3	文書管理事業	総務課
			730-5	弁護士相談事業	総務課
		(5)職員の計画的な人事配置と育成	735-2	人材育成事業	総務課
			735-3	職員の任免及び定員管理事務	総務課
		(3)効率的な行政経営の推進	733-1	行政協力事業(旧嘱託員事業)	総務課
			733-2	行政区運営事業	総務課
			730-10	市民活動総合補償事業	総務課
		(3)効率的な行政経営の推進	733-3	政策推進事業	秘書課
			730-21	収入の確保・適正化業務	財政課
		(2)持続可能な財政運営	732-2	行財政運営の改善業務	財政課
			730-29	住宅新築資金関係事業	人権啓発課
		(3)効率的な行政経営の推進	733-4	行政改革推進事業	企画経営課
			730-31	総合的計画推進事業	企画経営課
		(3)効率的な行政経営の推進	733-5	行政評価事業	企画経営課
		(1)公共施設等の効率的な管理運営	731-1	学校跡地活用事業	企画経営課
			730-32	まち・ひと・しごと創生事業	企画経営課
		(1)公共施設等の効率的な管理運営	731-2	庁舎跡地等活用検討事業	企画経営課
			731-3	重要施策進行調整事業	企画経営課
			730-34	ふるさと納税推進事業	地域振興課
(1)公共施設等の効率的な管理運営	731-4	市有財産管理事業	管財課		
	731-5	市有財産活用事業	管財課		
(3)効率的な行政経営の推進	733-7	公共施設等総合管理事業	管財課		

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
⑦健全な行政運営	(3)行財政運営の効率化	(1)公共施設等の効率的な管理運営	731-6	公共施設適正配置事業	管財課
		(3)効率的な行政経営の推進	733-9	入札契約業務	契約検査課
			730-39	建設工事検査業務	契約検査課
			730-40	社会保障・税番号制度事業	市民課
			730-41	コンビニエンス証明書交付事業	市民課
		(2)持続可能な財政運営	732-5	市税徴収事業	税務課
			730-43	地籍管理事業	税務課
		(1)公共施設等の効率的な管理運営	731-7	横島墓地公苑管理事業	環境整備課
			731-8	財産管理事業	岱明市民生活課
		(3)効率的な行政経営の推進	733-10	財産管理事業	横島市民生活課
			733-11	財産管理事業	天水市民生活課
			730-45	工事等設計及び監理委託並びに相談業務	営繕課

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	番号法関連事業		所管課 【2】	総務課							
			作成者(担当者)	松永 太輔							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営				重点 施策 【4】					
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化									
	施策区分					<input type="checkbox"/> 該当					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 第3次玉名市行財政改革大綱 】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款	2	項	1	目	1	細目	1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	行政手続の効率化、簡素化のため、各種手続における特定個人情報(個人番号を含む個人情報)の利用が開始され、適正な取扱いが求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	職員
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	特定個人情報を取り扱う担当課間の情報共有及び職員の意識高揚を図ることにより、特定個人情報を適正に取り扱う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
	【 年度】	【 R2 年度から】	【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的な内容 【14】	・特定個人情報保護評価の実施 ・職員研修の実施 ・マイナンバー担当者会議の開催		【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 特定個人情報保護事務 ② 番号法関係課調整事務 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
	【16】 小計	0	0	0	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0		
	職人件費	職員人工数	0.00	0.00	0.40	0.40
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
	【17】 小計	0	0	2,190	2,199	
	合計	0	0	2,190	2,199	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 特定個人情報保護事務	国のガイドライン及び玉名市特定個人情報の取扱いに関する管理規程に基づき、事務に係る職員に対して研修を行う。	研修受講者数	人	—	—	184	190
② 番号法関係課調整事務	マイナンバー担当者会議を開催し、マイナンバー関係課に係る特定個人情報取扱事務の情報共有及びその調整を図る。	会議開催回数	回	—	—	4	6
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(職員研修の受講者数)	0	0	184
投入コスト合計(千円)	0	0	2,190	2,199
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	12	12
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00% (-) 102.84% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点			評価結果
	妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある			有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度からの事業のため、前回のふりかえりなし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	職員が適正な特定個人情報の取扱いができるよう、今後もeラーニングによる研修及び担当者会議の開催を継続していく。特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドラインに沿った形で玉名市特定個人情報の取扱いに関する管理規程を改正したので、当該規程に基づき、より適正な安全管理措置を取った上でマイナンバー制度による市民サービスの提供ができるようにする。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドラインに沿った形で玉名市特定個人情報の取扱いに関する管理規程を改正した。併せて、職員が適正な特定個人情報の取扱いができるよう、今後もeラーニングによる研修及び担当者会議の開催を継続していく必要がある。	評価責任者 井上 康博
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 4 columns: 事務事業の名称, 所管課, 総務課, 作成者. Includes sections for 総合計画での位置付け, 実施の根拠, 事業区分, and 会計区分.

《事務事業の目的》

Table with 2 columns: 目的 (e.g., 住民等からの情報公開請求に迅速に対応するため), 対象 (各課), 意図 (公文書を仕分けし、簿冊や保存年限を整理すること).

《事務事業の概要》

Table with 2 columns: 概要 (e.g., 事業期間, 事業主体, 実施方法) and 事務事業の具体的内容 (e.g., 公文書の適切な管理, 追録の整備).

《事務事業実施に係るコスト》

Cost breakdown table with columns for years (H30, R01, R02, R03) and categories like 事業費 (千円) and 職人員の費用. Includes a total row at the bottom.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 文書管理業務	公文書の適切な管理	簿冊整理回数	回	2	1	1	1
② 図書法規整理業務	追録整備	追録回数	回	10	12	11	11
③ 公文書受領・配布業務	公文書の仕分け及び配布	特定郵便物仕分け件数	件	5342	5252	5529	5529

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(各課)	41	42	41
投入コスト合計(千円)	6,012	957	1,040	1,197
対象1単位あたりのコスト(千円)	147	23	25	29
コスト評価(対前年比)	***	643.54% (↑)	89.83% (↓)	86.88% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	文書保管場所について、文書倉庫内の保管場所の調整を行い保管場所不足問題はやや改善した。文書管理システムの導入、保管公文書の期限や分類の見直しの検討を行ったが結論がでなかった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	事務の円滑な処理並びに情報公開請求及び個人情報開示請求への迅速な対応に資するため、本事業は継続の必要がある。が、将来的に慢性的な文書保管場所不足の問題等の検討も必要である。	評価責任者 井上 康博
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

基本情報

事務事業の名称 [1]	弁護士相談事業		所管課 [2]	総務課	
			作成者(担当者)	内村 敏弘	
総合計画での位置付け [3]	基本目標(章)	⑦健全な行政運営			重点施策 [4]
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化			<input type="checkbox"/> 該当
	施策区分				
実施の根拠(複数回答可) [5]	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 ■ 該当なし				
事業区分 [6]	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 [7]	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 2 項 1 目 1 細目 5				

事務事業の目的

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	事業を実施していくに当たって生じる様々な法的問題について、弁護士による専門的な助言が必要となる場合がある。
対象(誰、何に対して、受益者等) [9]	職員、各種法令が関係する行政上の諸問題
意図(どのような状態にしたいか) [10]	顧問弁護士に相談することで、行政問題の解決を図る。

事務事業の概要

事業期間 [11]	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】				
事業主体 [12]	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】				
実施方法 [13]	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】				
事務事業の具体的内容 [14]	<p>・顧問弁護士への相談により、関係法令に照らし合わせた問題解決に向けた適切な助言や指導などを受ける。</p> <p>⇒</p> <table border="1"><tr><td>【15】 事務事業を構成する細事業(1)本</td></tr><tr><td>① 弁護士相談業務</td></tr><tr><td>②</td></tr><tr><td>③</td></tr></table>	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本	① 弁護士相談業務	②	③
【15】 事務事業を構成する細事業(1)本					
① 弁護士相談業務					
②					
③					

事務事業実施に係るコスト

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	584	594	594	594	0
		【16】 小計	584	594	594	594	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人件費	職員人工数	0.01	0.01	0.01	0.01	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
		【17】 小計	59	55	55	55	
	合計		643	649	649	649	



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 弁護士相談業務	顧問弁護士への相談により問題解決を図る。	相談件数	件	9	11	9	9
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(職員、各種法令が関係する行政上の諸問題)	9	11	9
投入コスト合計(千円)	643	649	649	649
対象1単位あたりのコスト(千円)	71	59	72	72
コスト評価(対前年比)	***	121.09% (↑)	81.82% (↓)	100.00% (→)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	特に問題がないことから、現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	市民ニーズの多様化、複雑化、高度化及び市民の権利救済制度の拡充に伴い、問題解決に当たっての法的、専門的な知識が求められる機会が増加している。これらの問題に適切かつ迅速な対応するためにも、本事業は必要である。	評価責任者 井上 康博
-------------------	---	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 基礎研修事業	新規採用職員前期及び後期、勤続4年未満・中堅職員、現任参事・係長・課長・部長等の各研修を実施する。	研修参加者数	人	254	416	101	270
② 派遣研修事業	自治大学校、市町村アカデミー、NOMA等に派遣する。	研修派遣者数	人	97	146	58	70
③ 特別研修事業	政策課題に必要な知識や能力の習得を図るため、人事評価実務研修等の研修に参加させる。	研修参加者数	人	910	2224	332	600

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(職員数)	511	530	528	527
投入コスト合計(千円)	7,584	22,684	9,456	14,655
対象1単位あたりのコスト(千円)	15	43	18	28
コスト評価(対前年比)	***	34.68% (↓)	238.98% (↑)	64.40% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 基礎研修事業理解度	研修後のアンケートで「研修内容はよく理解できた。」と回答した者の割合	%	***	***	90	90
2			***	***	99	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	人事評価システムを適切に活用した人材育成を図るため、重点的に人事評価研修を実施した。人材育成の更なる推進のため人材育成基本方針改正作業部会を設置し、内容の再検討、改正案の作成を行った。その後、人材育成基本方針検討委員会において改正案の審議を行い、人材育成基本方針の改正を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新たな方針に基づき、職員研修基本計画や人事評価マニュアルの改正を行いながら、質の高い行政サービスを提供していくための人材育成を継続していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	人材育成基本方針を改正したので、今後は新たな方針に基づき、職員研修基本計画や人事評価マニュアルの改正を行いながら、質の高い行政サービスを提供していくための人材育成を継続していく必要がある。	評価責任者 井上 康博
----------------------	--	----------------

## 事務ふりかえりシート

### 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	職員の任免及び定員管理事務		所管課【2】	総務課
			作成者(担当者)	郷戸 成紀
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営		
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化		
	施策区分	(5)職員の計画的人事配置と育成		
重点施策【4】				
	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【                                      年度予定                                      :                                      金額                                      0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【  地方自治法、地方公務員法                                      】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【  玉名市職員定員管理基本方針(H31~R5)                                      】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【                                      】    款 2 項 1 目 1 細目 14			

### 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	職員の任免について、地方公務員法や条例、規則等により適正に実施する必要がある。また、簡素で効率的な行財政のしくみを構築するために、定員の適正化を図っていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	特別職、一般職員、臨時職員、会計年度任用職員等
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	適材適所の職員配置を行い、服務規律を確立することで職員の意欲、公務効率の向上を図る。

### 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【                                      年度】                                      【 H17 年度から】                                      【                                      年度~                                      年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                                      】	
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                                      】	
事務事業の具体的内容 【14】	職員(特別職、一般職員、任期付職員、再任用職員、会計年度任用職員、臨時職員、非常勤職員)の任免に関する事務、職員定員適正化計画の策定及び計画に基づく職員数の調整。	【15】 事務事業を構成する細事業( 10 )本 ⇒ ① 定員管理事務 ② 人事異動事務 ③ 職員採用事務

### 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	526	8,252	426	1,401
		【16】 小計	526	8,252	426	1,401
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	139	153		
	職人件費	職員人工数	1.65	1.45	1.39	1.39
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
		【17】 小計	9,728	7,940	7,612	7,641
	合計		10,254	16,192	8,038	9,042

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 定員管理事務	定員適正化計画の策定、計画の実行	年度当初職員数 (任期付・再任用職員除く)	人	510	530	528	527
② 人事異動事務	人事異動の実施	年度当初異動職員数	人	238	220	170	152
③ 職員採用事務	次年度の新規採用職員の募集	新規採用職員数	人	28	13	15	8

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(定員管理総数)	776	763	713	687
投入コスト合計(千円)	10,254	16,192	8,038	9,042
対象1単位あたりのコスト(千円)	13	21	11	13
コスト評価(対前年比)	***	62.27% (↓)	188.24% (↑)	85.65% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	玉名市職員定員管理基本方針に基づき、必要な職員数の確保を行った。行政ニーズの多様化、複雑化に伴い、職員の専門性が必要となっているため、採用試験をこれまでの年1回実施から年3回実施へと実施回数を増やすことで、必要な専門職職員の確保を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	職員数の適正化には、各種事務事業の推進に必要な職員数の把握が必要なことから、市の情勢や定年延長などの制度改正に対応し、玉名市職員定員管理基本方針を必要に応じて見直しを行う。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	職員数の適正化には、各種事務事業の推進に必要な職員数の把握が必要なことから、市の情勢や定年延長などの制度改正に対応し、玉名市職員定員管理基本方針を必要に応じて見直しを行っていく。	評価責任者 井上 康博
----------------------	---	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 行政協力業務委託業務(嘱託員任免業務)	行政協力業務委託契約の締結	契約人数	人	***	***	258	258
② 行政協力業務研修業務(嘱託員総会業務)	受託者に対する研修会の開催	開催回数	回	***	***	0	1
③ 広報等配布業務(嘱託員文書配布業務)	毎月の広報配布	依頼回数	回	***	***	12	12

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(市民)	0	0	65817
投入コスト合計(千円)	0	0	84,183	85,062
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	1	1
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (ー)	0.00% (ー)	98.02% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 行政協力業務委託契約の契約率	定数(258人)に占める契約者数の割合	%	***	***	100	100
2			***	***	100	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担になじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度から従来の嘱託員業務を各行政区長への委託によりお願いすることとなった。市内258区の全区長と委託契約を締結し、市行政と市民の橋渡しをお願いすることができたため、市政運営を円滑に行うことができた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	各行政区長に、市行政と市民の橋渡しをお願いすることにより、広報配布や災害対応などが円滑に進められていることから、今後も継続していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	各行政区長に、市行政の円滑な運営を図るために、行政と市民の橋渡しをお願いすることにより、広報配布や災害対応などが円滑に進められていることから、今後も継続していく必要がある。	評価責任者 井上 康博
-------------------	--	----------------



事務ふりかえりシート

基本情報

Table with 4 main rows: 1. 事務事業の名称, 2. 総合計画での位置付け, 3. 実施の根拠, 4. 事業区分. Includes sub-rows for objectives, strategies, and implementation details.

事務事業の目的

Table with 3 rows: 8. 事務事業の実施背景, 9. 対象, 10. 意図. Describes the reasons, targets, and goals of the business.

事務事業の概要

Table with 4 rows: 11. 事業期間, 12. 事業主体, 13. 実施方法, 14. 事務事業の具体的内容. Details the schedule, organization, execution, and specific tasks.

事務事業実施に係るコスト

Large table showing financial costs across years (H30, R01, R02, R03) and overall plan. Categories include '事業費' (business costs) and '職人員の費用' (staff costs).

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 行政区相談・要望事務	相談及び要望の受付並びに処理	相談・要望受付件数	件	1	1	1	1
② 区長会協議会運営業務	区長会協議会の運営	協議会開催回数	回	3	3	0	3
③ 区長会研修補助業務	区長会先進地研修に対する補助	補助件数	件	10	9	0	10

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(区長数)	258	258	258
投入コスト合計(千円)	4,838	4,689	2,910	5,301
対象1単位あたりのコスト(千円)	19	18	11	21
コスト評価(対前年比)	***	103.18% (↑)	161.13% (↑)	54.90% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 要望処理率	処理件数/要望件数×100	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により、区長会協議会の会議を開催することができず、また、各行政区長へのアンケート調査も実施しなかったため、行政区支援のあり方の検討については進めることはできなかった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	各行政区長へのアンケート調査や区長会協議会の会議を通じて、行政区の課題などを洗い出しや認識を行い、行政区支援のあり方について検討を行う。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	コロナウイルス感染症の影響により、区長会協議会の会議を開催することができなかったが、地域コミュニティの基礎となる行政区に対して支援を行うことは、市民福祉の増進に直結するため、今度も行政区支援のあり方について検討を行いながら、本事業を継続していく必要がある。	評価責任者 井上 康博
-------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民活動総合補償事業		所管課 【2】	総務課
			作成者(担当者)	野田 希
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営		
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化		
	施策区分		重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 市民活動総合補償制度要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 2 項 1 目 9 細目 3			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市民が積極的に市民活動に参加できるような環境を整備する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、市民活動
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市が市民活動総合賠償補償保険に加入することで、積極的な市民活動の支援を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H18 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	市が市民及び市内で活動する者を対象とした市民活動総合賠償補償保険 ・賠償責任保険(対人) 一名につき6,000万円、一事故につき2億円 ・補償保険 死亡:600万円、入院:1日につき3,000円、通院:1日につき2,000円
	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ① 市民活動総合補償制度業務 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,111	717	551	1,350	
	【16】 小計	1,111	717	551	1,350	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	72	0				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.10	0.10	0.00	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
会計年度任用職員人工数				0.05	0.05		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
【17】 小計	590	548	98	649			
合計	1,701	1,265	649	1,999			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 市民活動総合補償制度業務	市民を対象とした市民活動総合補償保険	補償件数(事故申請件数)	件	10	6	3	3
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算		
	対象(市民)	66850	66319	65817	65189		
投入コスト合計(千円)	1,701	1,265	649	1,999			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	133.46%	(↑)	193.41%	(↑)	32.16%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 補償率	承認件数/申請件数×100	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 事業の性質上、受益者負担になじまない。 ) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	昨年度に引き続き広報、ホームページでの周知を行ったことにより、市民への制度の認知度がさらに向上している。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も引き続き事業を継続し、市民活動の支援を行っていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	万が一の事故に備えて全市民を対象として加入している市民活動総合補償保険は、市民に安心感を与え、市民活動への参加の促進に大いに役立つため、今後も本事業を継続して実施していく必要がある。	評価責任者 井上 康博
-------------------	---	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 政策推進事業	複数課にまたがる事業の調整、10年ビジョンの進捗管理、情報の収集、市長指示の伝達	会議、打合せ出席回数	回	155	170	164	163
② 行政活動公表事業	広報たまたな特別号の発刊	広報たまたな特別号発行回数	回	-	-	1	1
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象( 庁内(全事務事業) )	483	490	547
投入コスト合計(千円)	9,434	8,762	10,192	10,294
対象1単位あたりのコスト(千円)	20	18	19	19
コスト評価(対前年比)	***	109.23% (↑)	95.97% (↓)	97.38% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 10年ビジョン該当事務事業の事務ふりかえり総合評価「A」率(進捗率)	10年ビジョン該当事務事業のうち、評価対象事業の事務ふりかえり総合評価「A」の割合	%	61.04	64.93	68.83	72.72
2 10年ビジョン該当事務事業の事務ふりかえり成果指標達成率(進捗率)	10年ビジョン該当事務事業のうち、評価対象事業の事務ふりかえり成果指標を達成した割合	%	48.82	53.94	59.06	64.18
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由( 受益者負担にそぐわない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	積極的に打合せへ出席したり、情報収集や市長指示の伝達を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	「笑顔をつくる10年ビジョン」の最終目標達成のために、これまでの行政運営を抜本的に見直し、より効果的な事業実施方法の検討や事業の選択について、庁内の情報を各課と共有しながら協議を行う。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	本事業は、「笑顔をつくる10年ビジョン」進捗管理を含めた市の重要政策の調整及び管理において重要不可欠である。 また政策調整のため、積極的に庁内連携、庁内指示を実施している。	評価責任者 瀬崎 陽一郎
----------------------	---	-----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 使用料・手数料の見直し業務	使用料・手数料見直しについての周知および庁内会議の開催	周知・開催回数	回	2	3	1	1
② 広告料導入に関する業務	市広告媒体への広告掲載	市媒体への広告掲載件数	回	3	3	3	3
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
		投入コスト合計(千円)	66850	66319	65817
	対象1単位あたりのコスト(千円)	295	274	274	275
	コスト評価(対前年比)	0	0	0	0
		***	106.78% (↑)	99.28% (↓)	98.58% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 自主財源確保額	広告導入に伴う支出不要となった額+ 広告バナー料	千円	988	1357	1367	1247
2			1257	1367	1277	

\* 成果未達成時の理由 市HPへの広告掲載件数が目標を下回ったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担になじまないため ) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	使用料・手数料については、令和元年10月の消費税率引き上げに伴う料金見直しを令和2年の4月に行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後は公共施設の使用料の適正化を図るため、地方公会計を活用したフルコスト分析による使用料設定の指針を作成する。広告導入に関しては、新たな広告媒体の活用について他市の事例等を参考に検討を進める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後は、公共施設の使用料の適正化について、施設毎にフルコスト分析を行い、公正かつ透明性の高い受益者負担となるよう、使用料改定の指針を作成する。	評価責任者 <b>宮本 圭一郎</b>
-------------------	---	------------------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	行財政運営の改善業務		所管課 【2】	財政課
			作成者(担当者)	永田 哲朗
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営		
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化		
	施策区分	(2)持続可能な財政運営		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【		年度予定	金額 0 千円】
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【		地方自治法、地方財政法	
	<input type="checkbox"/> その他の計画【		】 <input type="checkbox"/> 該当なし	
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】 款	99 項 10 目 0 細目 0

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	本市の財政状況において、他市と比較して物件費、補助費等が高い傾向にある。また、補助金や負担金の支出に対し、毎年の業務実態に応じた支出がされていないものや、支出に適さない用途に使用されている状態が散見されており、当該補助金・負担金が既得権化しているものがある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	予算(各事務事業) 補助金、負担金を受給する団体
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市の事務事業の見直し、補助金・負担金交付団体の繰越金や用途を精査し、歳出の適正化並びに削減を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】【
事務事業の具体的内容 【14】	<p>・各種協議会組織への負担金の見直し⇒目的、必要性、費用負担のあり方等について十分精査し、目的達成度、費用対効果等を勘案して縮減または廃止等の見直しを行う。</p> <p>・補助金・交付金の見直し⇒既得権化している補助金等について、「玉名市補助金見直し基準」により定期的に見直しを行うことで、補助事業の機会均等化及び透明性確保、重点化を図る。</p> <p>・事務改善に関する業務⇒事務事業の見直しにより、他市と比較して高い傾向にある物件費、補助費等を圧縮し、歳出の削減を図る。</p>
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業( 2 )本</p> <p>⇒</p> <p>① 負担金・補助金の見直し業務</p> <p>② 事務改善に関する業務</p> <p>③</p>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小 計	0	0	0	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数	0.18	0.18	0.13	0.13
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973	
	【17】 小 計	1,061	986	712	715	
	合 計	1,061	986	712	715	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 負担金・補助金の見直し業務	毎年定額的に支出しているものを見直す。	見直し件数	件	6	9	18	9
② 事務改善に関する業務	予算要求(執行)基準を見直し、当初予算に反映させる。	見直し件数	件	2	1	5	2
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象( 市民 )	66850	66319	65817	65189
投入コスト合計(千円)	1,061	986	712	715
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	106.72% (↑)	137.43% (↑)	98.63% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	補助金を支出している各団体の繰越金や事業規模の変化等を確認・精査し、当初予算編成時に反映させた。 指摘・検討事項がある補助金については、所管課において対象団体と協議し、次年度の予算要求に反映するよう通知を行った。【負担金調査については、補助金との隔年実施のため未実施】 予算要求(執行)基準については、職位に対する報償費(講師謝礼等)の見直しや補助金の事前交付に係る手続きの見直し等を行い、内容改善を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	特に問題なく、現状のまま事業を継続する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	当初予算編成前に、各種団体・協議会の補助事業実施状況及び負担金概要調査書を精査し、予算編成に反映させている。今後も不適切な経費への支出や繰越金など決算状況を精査し、補助金・負担金交付の適正化を図っていく。	評価責任者 宮本 圭一郎
----------------------	--	-----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 住宅新築資金等貸付金滞納整理事業	滞納者の個々の整理	滞納者人数	人	42	41	38	36
② 住宅新築資金等貸付金基本的回収事業	現年分の回収事務	現年分件数	件	0	0	0	0
③ 住宅新築資金等償還管理システム運用事業	貸付金の償還に関するデータのシステムによる一括管理	貸付金償還者数	人	25	24	24	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(住宅新築等資金の貸付が必要な人)	42	41	38
投入コスト合計(千円)	1,885	2,449	2,329	2,333
対象1単位あたりのコスト(千円)	45	60	61	65
コスト評価(対前年比)	***	75.14% (↓)	97.46% (↓)	94.57% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 貸付金徴収率	貸付総額から年度末まで償還された額の割合(償還率)	%	89.9 89.96	90.2 90.22	90.3 90.68	91.0
2 償還額	単年度における償還額	円	4546000 5442610	5052000 4109364	4330000 6797436	5507000
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市の貸付事業であるため) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	滞納者に対して継続して交渉を行い、納付再開2名、完納2名の成果をあげることができた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	償還中の滞納者については、債権回収を着実に継続する。また、早期完納に向けた交渉を行う。償還停止中の滞納者については、納付再開に向けた交渉を行う。現況不明の滞納者については、必要な各種調査を行う。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
債務者それぞれの状況把握(死亡の場合は相続人調査)に努め、早期完納に向けた交渉を実施する。	濱治 裕子



事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 4 main rows: 1. 事務事業の名称 [1], 2. 総合計画での位置付け [3], 3. 実施の根拠 (複数回答可) [5], 4. 事業区分 [6]. Includes sub-rows for goals, strategies, and implementation details.

《事務事業の目的》

Table with 3 rows: 1. 事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8], 2. 対象 (誰、何に対して、受益者等) [9], 3. 意図 (どのような状態にしたいか) [10].

《事務事業の概要》

Table with 4 rows: 1. 事業期間 [11], 2. 事業主体 [12], 3. 実施方法 [13], 4. 事務事業の具体的内容 [14]. Includes details on duration, entity, and specific project descriptions.

《事務事業実施に係るコスト》

Table with 7 columns: 事業費 (千円), 職員人工数, 職員人工費, and 全体計画. Rows include: 国庫支出金, 県支出金, 起債, 受益者負担, その他, 一般財源, [16] 小計, 職員人工数, 職員の間年平均給与額(千円), 会計年度任用職員人工数, 会計年度任用職員の年間平均給与額(千円), [17] 小計, 合計.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 行政改革大綱実行計画進行管理事業	進捗状況の把握と確認により取組の推進や強化を図る。	進行管理項目数	項目	18	18	18	18
② 行政改革推進本部開催事業	行政改革に関する方針や取組等を審議し決定する。	会議開催回数	回	2	3	2	2
③ 行政改革推進懇話会開催事業	大綱策定や推進に関する外部意見や助言を求める。	会議開催回数	回	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
		66850	66319	65817	65189
	投入コスト合計(千円)	1,483	1,807	1,095	1,217
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	81.39% (↓)	163.76% (↑)	89.13% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 行政改革大綱実行計画の取組項目一覧の各年度毎の達成率	達成項目数/全項目数(18項目)	%	60	70	60	60
			72.2	50	44.4	
2						

\* 成果未達成時の理由 「計画どおりに達成」については18項目中8項目で「一部達成」の項目が8項目あったため目標の数値に到達しなかった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	各担当課が目標を持って取り組んだものの、年度別計画の達成が出来なかった。第4次行政改革大綱の作成について、今後の方向性を検討した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	年度別計画の達成が出来なかった部分については担当課と連携し進捗管理を行っていく。第3次行政改革大綱推進期間が令和3年までとなっているため、第4次行政改革大綱の作成を含め、今後のあり方や方向性について検討を行っていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	行政大綱で達成できなかった部分については、担当課と一緒に原因を詰めた上で、DX等の新たな潮流を取り入れた今後の取組方針を検討し、市役所全体で市民サービス向上の取組を進める必要がある。	評価責任者 石貫 誠哉
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

基本情報

Table containing basic information: 1. 事務事業の名称: 総合的計画推進事業; 2. 所管課: 企画経営課; 3. 総合計画での位置付け: 基本目標(章) ⑦健全な行政運営; 4. 重点施策: 重点施策 [4] □ 該当; 5. 実施の根拠: □ 市長公約 □ 新市建設計画; 6. 事業区分: □ ソフト事業 □ 内部管理事務; 7. 会計区分: 一般会計 □ 特別・企業会計

事務事業の目的

Table detailing the purpose: 8. 事務事業の実施背景: 厳しい財政状況や市民ニーズの高度化、多様化など市を取り巻く環境変化を前提にして、中長期的な視点により自らの置かれた現状や今後の動向を踏まえた上で、それらに柔軟に対応しうる市政の計画的かつ効率的な執行を図っていく必要がある。 9. 対象: 施策、事務事業 10. 意図: 市政の総合的、計画的な行政運営を図る。

事務事業の概要

Table summarizing project details: 11. 事業期間: 単年度のみ [年度] H17年度から [年度~年度まで]; 12. 事業主体: 市; 13. 実施方法: 直営; 14. 事務事業の具体的内容: 基本計画などによって方向付けられた施策を効率よく実行していくための具体的な内容や手段を示すものとして3年間のローリング方式で実施計画を策定する。 15. 事務事業を構成する細事業(6)本: ① 総合計画実施計画策定事業 ② 総合計画進捗管理業務 ③ 企画審議会開催事業

事務事業実施に係るコスト

Table showing costs: Columns include H30年度決算, R01年度決算, R02年度決算, R03年度予算, 全体計画. Rows include 事業費 (千円) (国庫支出金, 県支出金, 起債, 受益者負担, その他, 一般財源) and 職人員件の費 (職員人工数, 職員の間年平均給与額(千円), 会計年度任用職員人工数, 会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)). Total cost (合計) is 1,794 for H30 and 13,936 for R03.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 総合計画実施計画策定事業	実施計画調書の評価、検討を行い実施計画を策定する。	掲載事務事業数	本	246	245	228	231
② 総合計画進捗管理業務	進捗状況を取りまとめホームページに掲載する。	市HP掲載回数	回	1	1	1	1
③ 企画審議会開催事業	玉名市の重要施策を審議するため企画審議会を開催する。	開催回数	回	2	1	3	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(事務事業本数)	246	245	228
投入コスト合計(千円)	1,794	1,343	5,148	13,936
対象1単位あたりのコスト(千円)	7	5	23	60
コスト評価(対前年比)	***	133.04% (↑)	24.28% (↓)	37.43% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 企画審議会での審議本数	企画審議会に付議された件数	本	3	3	3	3
2			3	2	5	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	c
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
		・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		・法定事務であり成果は求めにくい	c
		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】	【24】
		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	中長期的な視点に立ち市政の計画的かつ効率的な執行を図っていくために重要な事業であり、第2次玉名市総合計画前期基本計画に基づいた施策の推進を図っていく必要があるため、現状のまま継続する。 また、後期基本計画の計画期間がR4~R8年度のため、前期基本計画の進捗状況や民意を反映させた後期基本計画を策定する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	誰もが意識する(手に取る)総合計画を策定するための重要な一年間であり、関係の会議体や市民各層との意見交換を重ねて進める必要がある。また、同計画策定に関して実施した市民意識調査の分析結果については、計画策定だけではなく、個別の施策・事業においても活用したい。 企画審議会については、市の政策・施策の決定過程の明確化に向けて改革の検討を進めたい。	評価責任者 <b>石貫誠哉</b>
-------------------	--	----------------------

# 事務ふりかえりシート

### 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	行政評価事業		所管課【2】	企画経営課							
			作成者(担当者)	小川 孝							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営				重点 施策【4】 <input type="checkbox"/> 該当					
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化									
	施策区分	(3)効率的な行政経営の推進									
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 第3次行政改革大綱 】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	2	項	1	目	8	細目	9

### 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地方分権の進展に伴い、義務付け、枠付けの見直しや補助金、交付金の改革等によって、一層厳しい財政状況におかれることから、自治体の自己の責任と決定において、より自主性・自律性の高い行政運営が求められている。また同時に、高度化・多様化する市民ニーズに対応するため、限りある行政資源を効率的・効果的に活用した持続可能な行財政運営体制の構築が求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	事務事業、施策、市職員、市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市の行政活動に関する自己点検や評価により必要とされる具体的な改善や見直しを行い、限りある行政資源を有効活用することで、市民が満足する質の高いサービスを提供するとともに、市職員の適切な行政経営意識を養うことで予算との連動を図る。

### 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容 【14】	一次評価(自己評価)及び二次評価(行政改革推進本部)を実施要領に基づき客観的に行い、問題等を把握し改善策を検討する。 一次評価(自己評価)及び二次評価(企画審議会)を実施要領に基づき客観的に行い、新規事業の採択等を決定する。 層化抽出により抽出した市民を対象に、隔年実施(奇数年度に実施)でアンケート調査を実施し、調査結果を各評価時に活用する。 PDCAサイクルによる事務事業単位での事務ふりかえりや新規事業提案、また外部評価委員会による外部評価を実施する。 行政評価事業及びそれに類似する内容を記載する事業の帳票をシステム化することにより、作業の簡素化や効率化を図る。	<b>【15】 事務事業を構成する細事業(5)本</b> ⇒ ① 事務ふりかえり事業 ② 新規事業提案事業 ③ 行政評価システム導入・運用事業

### 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	936	927	966	946
	【16】 小計	936	927	966	946	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人 人件 の 費	職員人工数	1.20	1.18	1.70	1.50
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973	
【17】 小計	7,075	6,462	9,309	8,246		
合計	8,011	7,389	10,275	9,192		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 事務ふりかえり事業	前年度からの継続事業を対象に、視点ごとに評価する。	評価事業数	本	299	298	307	300
② 新規事業提案事業	次年度以降の新規事業を対象に、視点ごとに評価する。	評価事業数	本	58	52	42	50
③ 行政評価システム導入・運用事業	システムの更新を行うことで、作業の簡素化や効率化の向上を図る。	システム更新回数	回	12	9	7	10

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算			
	対象(事務ふりかえり評価対象事業本数)	299	298	307	300		
投入コスト合計(千円)	8,011	7,389	10,275	9,192			
対象1単位あたりのコスト(千円)	27	25	33	31			
コスト評価(対前年比)	***	108.06%	(↑)	74.08%	(↓)	109.23%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 事務ふりかえり改善等検討実施率	要改善等とされ検討した継続事業が評価対象事業に占める割合(現状維持以外)	%	96	91	96	95
2 事務ふりかえり成果指標達成率	成果指標設定事務事業のうち成果達成事務事業の割合	%	—	—	55.0	50.0
* 成果未達成時の理由			1については所管課による検討や協議等が進んでいないため。	2については新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施等が困難なものがあつたため。		

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(庁内業務であり受益者負担は設定できない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度は行財政緊急対策を実施し、令和2年度当初予算から一般財源ベースでマイナス5%のシリンクを行ったが、結果は3.4%であり目標値には及ばなかった。しかし、ヒアリング等の実施により全事務事業の見直しを行った結果、事業の改善や縮小等が図られたことで、一定の成果を得ることが出来た。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和3年度から令和7年度までの5年間は行財政緊急対策期間として位置付けられているため、令和3年度は事務ふりかえりにおいて、全事務事業を対象にヒアリングを実施し、再度ゼロベースでの検証・見直しを行う。外部評価員会制度については新たな実施体制・方法等を検討する。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	令和3年度から令和7年度までの5年間は行財政緊急対策期間として位置付けられているため、引き続き事務ふりかえりや新規事業等の作業を通じて全職員が常に意識して担当業務に従事するようにしたい。また、行政評価と人事評価の連携についても、研究を進めたい。	評価責任者 石貫 誠哉
-------------------	--	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉陵中学校区旧小学校跡地活用事業	プロポーザルを行い小学校跡地の活用を図る。	プロポーザルの実施校	校	4	4	2	1
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(対象跡地校数)	4	4	2
投入コスト合計(千円)	3,649	2,710	1,056	550
対象1単位あたりのコスト(千円)	912	678	528	550
コスト評価(対前年比)	***	134.65% (↑)	128.31% (↑)	96.00% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 跡地活用契約候補者決定率	プロポーザル実施対象校の内跡地活用の契約候補者が決まった割合	%	100	100	100	100
2			25	50	0	
* 成果未達成時の理由		プロポーザルにて2校の募集を行い、それぞれ申し込みがあり、延べ3回の選定を行った。うち1回については契約候補者の選定を行ったが、選定後の辞退により結果として2校ともに契約候補者の決定には至っていない。				

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 跡地活用の事業者選定を目的としているため。 )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	予定どおり2校についてのプロポーザルによる募集を行った。2校ともに申込があったため選定委員会による選定を行ったが、契約候補者決定後の辞退や、契約候補者の選定に至らなかったことから、活用事業者の決定は出来なかった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	企画経営課の業務として担っていた、学校跡地のプロポーザルによる事業者募集については、実施要領や方法について方向性が定まったため、今後の募集や活用については施設の所管課である教育総務課に事務を戻すことで協議を進めていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	教育総務課内においてR3年度は1校を公募対象に、そして副市長も交えた協議により引き続き公募の事務を企画経営課が実施することになったが、公募の際に事業者への生活かつ必要な情報の提供に留意しながら、地域住民のコミュニティ活動に理解ある事業所に活用してもらえるよう事務を進めたい。	評価責任者 石貫 誠哉
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① まち・ひと・しごと創生推進本部開催事業	まち・ひと・しごと創生推進本部を開催する。	開催回数	回	0	1	0	1
② 総合戦略審議会開催事業	玉名市総合戦略審議会を開催する。	開催回数	施策	2	4	3	3
③ 総合戦略進捗管理業務	総合戦略に掲載した施策の検証・見直しを行う。	見直した施策数	回	2	4	3	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象( 市民 )	66850	66319	65817
投入コスト合計(千円)	3,611	7,764	4,065	4,090
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	46.14% (↓)	189.56% (↑)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 KPI達成率	重要業績評価指標(KPI) 達成の割合	%	41	41	8	21
			24	16	15	
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		・法定事務であり成果は求めにくい	b
		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	第1期の総合戦略の検証を行い、その結果を所管課と協議した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	A		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	本市の地方創生に向けた事業を着実に実行するため、第2期の計画に計上した事業のKPI達成状況を所管課と確認する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	第2期総合戦略に基づく事業の着実な推進と、地域活性化や人口増加につながる新たな事業の提案・実施に向けた全庁的な意識づけが必要であり、そのために企画経営課として取り組めることを考えたい。	評価責任者 石貫誠哉
----------------------	--	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 庁舎跡地等活用検討事業	関係各課、関係機関との協議を図る。	会議開催回数	回	4	1	4	4
② 旧庁舎跡地周辺急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊対策工事を実施する。	工事進捗率 設計:50%工事50%	一式	***	***	50	100
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算		R01年度決算		R02年度決算		R03年度予算	
	対象(会議開催数)	4	1	4	4	4	4	
投入コスト合計(千円)	1,179	821	35,903	87,085				
対象1単位あたりのコスト(千円)	295	821	8,976	21,771				
コスト評価(対前年比)	***	35.90%	(↓)	9.15%	(↓)	41.23%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 整備の進捗率	構想20%、計画20%、建設60%	%	5	20	40	40
2			5	20	20	

\* 成果未達成時の理由 計画策定について庁内で検討を進めていたが、検討内容が想定以上に多岐に渡っていたため年度内に調整が終わらなかった。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	予定通り急傾斜地崩壊対策工事に着手できた。また、サウンディング型市場調査を行い民間事業者の意見を聴取したところ、PPP/PFI手法による施設整備について可能性を確認した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和3年度に施設整備手法について、従来方式とPPP/PFI方式の比較検討を行い、整備方針を決定する。また、PPP/PFI方式による施設整備を行う場合、必要な資料となる「実施方針」や「要求水準書」等の作成を行う。また、並行して、財源として予定している「都市構造再編集中支援事業補助金」の国・県事前協議を行う。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	危険な急傾斜地の解消については、解消のめどがたったので、早期に跡地活用の具体化を図ることが必要である。旧庁舎跡地の活用が中心市街地の活性化に向けた最後のチャンスととらえ、PPP/PFIの実施に向けて関係機関と調整を進めたい。	評価責任者 石貫 誠哉
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① AI・RPA導入推進事業	AI・RPAを導入検討を行う事業数	検討事業数	回	—	—	1	1
② 岱明ふれあい健康センター活用支援事業	岱明ふれあい健康センター活用検討	検討会議開催回数	回	5	10	5	5
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(調整事業数)	2	2	1
投入コスト合計(千円)	2,064	1,917	3,559	3,573
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,032	959	3,559	3,573
コスト評価(対前年比)	***	107.67% (↑)	26.93% (↓)	99.61% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	【AI・RPA導入推進事業】R2からの事業のため前回ふりかえりなし 【岱明ふれあい健康センター活用支援事業】担当課である保健予防課と検討を重ねたものの、結論を得るには至らなかった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	【AI・RPA導入推進事業】AI・OCRについて試験導入を行ったが、本格的な導入には繋がらなかった。導入可能と考えられる業務の対象課が通常業務に追われて導入のための余裕がないことや無関心なことが背景にある。今後のAI・RPAの導入については、業務量調査を行ったうえで、同規模自治体や他市の状況等を比較したうえで、導入することによるメリットを可視化し導入に向けて進めていくこととする。 【岱明ふれあい健康センター活用支援事業】令和5年度の民間事業者による指定管理を目指すため、令和3年度中に今後の方向性等を決定する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	岱明ふれあい健康センターの活用は、施設所管課の検討を支援しながら事業を推進する。また、AI・RPA導入については、全業務量調査の結果を分析した上で、所管課とともに導入業務を選定し、導入スケジュール等の調整を行う。	評価責任者 石貫 誠哉
----------------------	--	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① ふるさと納税業務	寄付件数	寄付件数	回	5,401	35,295	60,411	100,000
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象( 寄附件数(件) )	5401	35295	60411	100000
投入コスト合計(千円)	39,432	273,126	491,138	671,739
対象1単位あたりのコスト(千円)	7	8	8	7
コスト評価(対前年比)	***	94.35% (↓)	95.18% (↓)	121.03% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 寄附額	年度中の寄附額	千円	30,000 72,348	110,000 440,506	610,000 877,394	1,000,000
2 純利益	年度中の寄附額－経費－市民の他自治体へのふるさと納税に伴う市民税の税額控除額	千円	0 11,609	18,000 148,873	200,000 357,678	300,000
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度においては、プロポーザルにより、ポータルサイトを1者追加(三越伊勢丹ふるさと納税)した。経費については、委託事業者と協議を重ね、特に配送料について見直しを進めた。返礼品事業者については、積極的に開拓を進め、寄附額増加に繋がっている。		
今後の方向性 【26】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	寄附だけの関係で終わらせないことを念頭に、ふるさと納税を通じた、本市ファン作り、関係人口の構築に注力する。経費削減及び事業者開拓については引き続き取り組みを進める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) ふるさと納税推進事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	R2年度のふるさと納税については、当初予算を大きく超え、8億7,739万円となった。(前年比約2倍。)寄附額の増加だけに主眼を置くのではなく、制度のルールを遵守しながらも、寄附者の満足度の向上、寄附リピーターの増加、返礼品事業者の事業所得拡大・販路拡大を目指す。生鮮品(生果)に対するクレーム等もあったが、関係事業とも情報共有し、一つ一つ丁寧な対応を行なった。	評価責任者 吉田 勇人
----------------------	--	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 市有財産管理業務	庁舎等の施設の修繕・敷地の草刈等を行う。	修繕件数	件	30	35	39	30
② 不動産登記業務	市有財産の登記を行う。	不動産登記件数	件	46	41	55	41
③ 庁用車管理業務	庁用車(共用車)の点検、修繕等の管理	車検車両台数	台	16	16	14	13

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(固定資産台帳管理資産総数)	32500	32612	36216
投入コスト合計(千円)	100,516	96,269	96,246	109,440
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	3	3	3
コスト評価(対前年比)	***	104.77% (↑)	111.08% (↑)	87.94% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 地方公会計・固定資産台帳管理資産総数	土地、建物、工作物、物品等の資産総数	件	32000	33000	32800	36216
			32500	32612	36216	
2						

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	地方公会計整備評価支援事業については、令和2年度に全庁的に照会をかけて所管課の確認調査を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	庁舎等の施設及び庁用車(共用車)の適切な維持管理を今後も継続していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	庁舎施設・設備や共用車の老朽化、劣化状況を的確に把握し、修理等適切な措置を講じながら、市有財産を適切に維持し、空調等電気料の削減を常に意識しながら管理に務める。	評価責任者 渡邊 一正
----------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市有財産利活用事業		所管課 【2】	管財課
			作成者(担当者)	安田 信孝
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営		
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化		
	施策区分	(1)公共施設等の効率的な管理運営		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【                    年度予定                    :                    金額                    0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【        玉名市有財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例、普通財産の利活用に関する要綱        】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【        未利用市有財産利活用計画                                       】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務		
	会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【                                                          】        款 2 項 1 目 5 細目 7		

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	将来的に利用価値が無い市有財産については、売却や貸付け等を行い、市有財産の適正化を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	未利用又は遊休市有財産
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市有財産の有効活用のため、求めに応じて適切な払い下げを行い、財源(歳入)の確保を目指す。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【                    年度】                    【 H17 年度から】                    【                    年度～                    年度まで】			
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                                                                             】			
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                                                                                                】			
事務事業の具体的内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水路や里道、未利用市有財産等について、払下げを行うもの。</li> <li>・普通財産の貸付及び売却することにより、財産の有効活用を行うもの。</li> <li>・老朽化した市有建物を解体し、跡地を利活用するもの。</li> </ul>		⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 3 )本
				① 市有財産払い下げ事業
				② 市有財産貸付事業
				③ 旧岱明第一保育所解体工事事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	12,300	19,300	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	757	2,653	14,503	5,069	0
		【16】 小 計	13,057	21,953	14,503	5,069	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0			
	職人 員 の 費	職員人工数	0.60	0.50	0.50	0.50	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
		【17】 小 計	3,538	2,738	2,738	2,749	
	合 計	16,595	24,691	17,241	7,818		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 市有財産払い下げ事業	普通財産の用地払い下げを行う。	売却契約件数	件	8	13	15	4
② 市有財産貸付事業	普通財産の用地貸付を行う。	貸付契約件数	件	0	0	0	1
③ 旧岱明第一保育所解体工事事業	老朽化し、危険性の高い建物を解体する。	解体土地面積	m <sup>2</sup>	0	0	1797	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算			
	対象(未利用市有財産活用計画敷地面積)	2551	3630	3621	3621		
	投入コスト合計(千円)	16,595	24,691	17,241	7,818		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	7	7	5	2		
コスト評価(対前年比)	***	95.64%	(↓)	142.86%	(↑)	220.53%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 利活用(売却・貸付)件数	売却・有償貸付件数	件	***	***	21	19
			***	***	30	
2						

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	b
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	b
	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	積極的な利活用を図り、入札3件、プロポーザル1件を含め、計15件の市有財産(土地)の売却、15件の有償貸付を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	売却が難しい物件については、賃貸によることも検討する等、今後も継続して未利用財産の有効活用を図る。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	令和2年度は入札3件、プロポーザル1件を含め、計15件の市有財産の土地を売却することができた。今年度も旧岱明第一保育所跡地の売却をはじめ、未利用財産の有効活用を図っていく。	評価責任者 渡邊 一正
----------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公共施設等総合管理事業		所管課 【2】	管財課	
			作成者(担当者)	入江 祐輔	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営			重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化			
	施策区分	(3)効率的な行政経営の推進			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【                      年度予定                      :                      金額                      0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【                      インフラ長寿命化基本計画(総務省)                      】 <input type="checkbox"/> その他の計画【                      】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【                      】                      款 2 項 1 目 8 細目 14				

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	国要請に応じ、「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえた公共施設の最適な配置を実現するための長期計画を策定する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	公共施設(ハコモノ建築物、道路、橋梁、上下水道等インフラ施設)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市の財政計画に沿って公共施設等の長期的(40年間)維持管理、修繕、更新等の費用の平準化を図り、実効性のある計画を策定する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【                      年度】                      【 H27 年度から】                      【                      年度～                      年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                      】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                      】
事務事業の具体的内容 【14】	「市公共施設適正配置計画」等を策定し、ハコモノ建築物等の長寿命化を図り、総コストの縮減をしつつ、施設の安全性を保つ公共施設マネジメントに取り組んでいる。それに加え、インフラ資産を総合的に管理する必要があり、また、国より公共施設及びインフラ資産等の総合的かつ計画的な管理の推進を図るため、国の「インフラ長寿命化基本計画」に沿って、本市も「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請されていることから、計画を策定するものである。 【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 公共施設等総合管理計画推進事業 ② 公共施設等総合管理業務 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	【16】 小計	0	0	0	0	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0			
	職人員件の費	職員人工数	0.04	0.04	0.04	0.04	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
【17】 小計	236	219	219	220			
合計		236	219	219	220		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 公共施設等総合管理計画推進事業	公共施設を総合的に管理するため、行革大綱進行管理調書を作成する。	ヒアリング実施庁内関係課数(ハコモノ)	課	15	15	15	15
② 公共施設等総合管理業務	インフラ施設の個別計画の進捗状況及び財産保有量の把握を行う。	ヒアリング実施庁内関係課数(インフラ)	課	5	5	6	6
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(ハコモノ施設総延床面積)	298778	300965	293787
投入コスト合計(千円)	236	219	219	220
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	108.22% (↑)	97.33% (↓)	100.00% (→)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 ハコモノ普通建設事業費(投資的経費)	目標値及び実績値(目標値>実績値で達成)	千円	5101328	3761811	1075784	1302926
2			4001193	2529781	1121249	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
		<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない
<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b	
<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b	
<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 実質的な内部管理業務であるため ) 【24】		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	個別計画との整合性を図りながら管理する体制の整備を進めた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	公共施設等の長期的(40年間)な維持管理、修繕、更新等の費用の低減と平準化を図る必要があり、事業は継続する必要性が高い。ハコモノ施設については、具体的な計画に基づき進捗管理を行っているが、インフラ施設について進捗管理の前提となる具体的な計画数値の根拠が把握できていない状況にあり、個別施設計画との整合を図りながら今後も事業を進めていく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	インフラ施設の具体的な計画数値の根拠が把握出来ず、進捗管理に苦慮しているので管理方法の見直しを図る必要がある。	評価責任者 渡邊 一正
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

基本情報

Table with 7 rows and multiple columns containing basic information such as project name (公共施設適正配置事業), objectives (健全な行政運営), and implementation details.

事務事業の目的

Table with 3 rows detailing the purpose, target audience (市保有公共施設), and intent (cost reduction and maintenance) of the project.

事務事業の概要

Table with 4 rows summarizing the project's period (annual), subject (municipality), method (direct operation), and specific content (facility renovation and management).

事務事業実施に係るコスト

Large table with 7 columns (H30, R01, R02, R03, Overall Plan) and multiple rows detailing costs for facilities, personnel, and other resources.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 構造躯体健全性判定業務	大規模改修を控える施設等に係る構造躯体の健全性判定を業務委託により行う。	玉名市公共施設長期整備計画	件	-	-	10	-
② 公共施設長期整備計画推進事業	年次計画に沿った施設の更新等を推進する。	進行管理ヒアリング	件	15	15	15	15
③ カーボン・マネジメント強化推進事業	公共施設におけるCO2削減に寄与するため(空調・照明の高効率への更新)。	玉名市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	件	3	5	5	-

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(計画取組件数)	12	7	5
投入コスト合計(千円)	17,938	13,314	22,262	15,807
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,495	1,902	4,452	790
コスト評価(対前年比)	***	78.59%	(↓) 42.72%	(↓) 563.35%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 施設保有量最適化の取組件数	年次計画に沿った建替え、廃止・集約など床面積の増減を伴う件数	件	20	18	15	11
2 施設長寿命化の取組件数	年次計画に沿った中規模修繕、大規模改修、長寿命化修繕の件数	件	12	10	10	9

\* 成果未達成時の理由 目標の達成に向け取組を行っているが、利用者・市民等の意見も確認しながら進めており、遅れが生じている。課題等の解決に向け、所管課と情報共有を図りながら進めている状況である。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(計画推進事業のため)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	公共施設適正配置計画に掲げてある削減目標の達成のため、長期整備計画・個別施設計画に基づき取組が着実に実施できるよう関係各課と年度実績報告や今後の取組についてヒアリングを実施してきたが、計画どおり進捗しているものもあれば、遅れを生じているものもある。このことから、R3年度から強力に事業推進を行えるよう業務内容の見直しや組織再編等の整備体制を図るための関係課との協議調整を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	長期整備計画・個別施設計画に基づき取組を行っているが、進捗に遅れを生じているものもあるため、今後は各取組に対し係内で担当者を決め、所管課での問題点や進捗状況等の確認を図ることにより所管課の取組に対する意識づけを図る。また、月1回の係内ミーティングを行うことで各取組に対する情報共有を図るとともに、取組の更なる推進に努める。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 構造躯体健全性判定業務			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	長期整備計画・個別施設計画に基づき進めており、福祉センターや市営団地の長寿命化は達成した。しかし、計画どおり進捗していない事案もあり、策定から5年が経つことから見直しを行っている。今後は、業務体制の見直しを行い、計画達成に向け更なる取組の推進を図る。	評価責任者 渡邊 一正
----------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

### 《基本情報》

事務事業の名称【1】	入札契約業務		所管課【2】	契約検査課	
			作成者(担当者)	山西 幸誠	
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営			重点施策【4】
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化			
	施策区分	(3)効率的な行政経営の推進			<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠(複数回答可)【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】				
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 地方自治法、会計法、入札適正化法、玉名市工事契約事務取扱要領】				
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業	
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務	<input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			】 款 2 項 1 目 1 細目 30

### 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	入札及び契約の過程において、不適格業者の排除と競争性、公平性、透明性の確保が求められている。
対象(誰、何に対して、受益者等)【9】	一般(指名)競争入札参加資格申請者、一般(指名)競争入札参加資格者
意図(どのような状態にしたいか)【10】	適正な契約執行により、競争性、公平性、透明性の確保と財政負担の適正化を図る。

### 《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容【14】	適格な入札参加資格者の中から最新の申請内容を調査した後、入札等により業者を選定し、工事契約等を適正に執行する。すべての工事及び建設コンサルタント業務の入札に対して、電子入札システムを利用した電子入札を実施する。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本
			① 建設工事請負契約業務 ② 入札参加資格審査業務 ③ 工事指名等審査業務

### 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,844	3,170	2,829	3,082	0
	【16】 小計	2,844	3,170	2,829	3,082	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		375	0			
	職人件費	職員人工数	2.25	2.07	2.07	2.07	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
【17】 小計	13,266	11,335	11,335	11,379			
合計		16,110	14,505	14,164	14,461		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 建設工事請負契約業務	競争入札を実施し、請負業者を決定する	入札回数	回	235	220	212	220
② 入札参加資格審査業務	入札参加資格審査申請書提出要領に基づく申請書を審査する	審査件数	件	1539	1503	1503	1485
③ 工事指名等審査業務	玉名市工事指名等審査規則に基づき指名されているかを審査する	審査件数	件	226	223	222	220

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(入札回数)	220	223	212
投入コスト合計(千円)	16,110	14,505	14,164	14,461
対象1単位あたりのコスト(千円)	73	65	67	66
コスト評価(対前年比)	***	112.58% (↑)	97.36% (↓)	101.64% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	業務委託についての最低制限価格の導入については、検討を行ったが、低価格での入札はほとんどなく、導入については見送ることにした。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【27】	今後も競争性、公平性、透明性を確保し適正な入札執行に取り組む。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		
総合判定	B		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
国、県の動向を踏まえ、本市に合った適正な入札事務に取り組む。	前田 弘信



# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	建設工事検査業務		所管課 【2】	契約検査課		
			作成者(担当者)	倉本 孝文		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営				重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化				
	施策区分					<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【                      年度予定                      :                      金額                      0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【   工事検査規程、補助工事検査規程                      】 <input type="checkbox"/> その他の計画【                      】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【                      】    款 99 項 17 目 0 細目 0					

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	利益追求に伴う手抜き工事、協議や指示のない一方的な出来型による設計変更が行われていないか確認するなどして、安全かつ適正な施工を行わせ、工事の品質を確保する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	工事請負業者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	安全かつ適正な施工を促すことにより、工事品質の確保につながる技術力の向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【                      年度】                      【 H17 年度から】                      【                      年度～                      年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                      】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                      】		
事務事業の具体的内容 【14】	<input type="checkbox"/> 工事の完了に伴い、適正に施行されているかの検査を行い、粗雑工事、管理不十分な点について指摘し、工事の品質を確保するとともに工事ごとに技術評価点を付している。		【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本 ⇒ ① 建設工事検査業務 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
		【16】 小 計	0	0	0	0	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)						
	職人 員 の 費	職員人工数	1.10	1.08	1.08	1.08	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
		【17】 小 計	6,486	5,914	5,914	5,937	
	合 計		6,486	5,914	5,914	5,937	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 建設工事検査業務	設計図書と施工状況との整合性の確認	検査件数	件	158	148	152	150
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(検査件数)	158	148	152
投入コスト合計(千円)	6,486	5,914	5,914	5,937
対象1単位あたりのコスト(千円)	41	40	39	40
コスト評価(対前年比)	***	102.73% (↑)	102.70% (↑)	98.30% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	今年度はコロナウイルスの影響で研修会が中止になり、参加できなかった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も適正な検査が実施できるように国や民間主催の研修会に参加し工事検査のノウハウを強化し、的確、適正な検査が行えるようにする。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		
総合判定	B		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後も適格、適正な工事検査を行っていく。	評価責任者 前田 弘信
----------------------	----------------------	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会保障・税番号制度事業		所管課 【2】	市民課							
			作成者(担当者)	古賀 祐一郎							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営					重点 施策 【4】				
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化									
	施策区分						<input type="checkbox"/> 該当				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会保障・税番号制度 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 第3次玉名市行政改革大綱 】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	2	項	3	目	1	細目	11

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現存する個人情報由各機関がそれぞれ管理していた。他の機関の情報を必要とする場合には、その都度情報のやり取りを行うか、対象者に聞き取りを行うなど事務が複雑化していた。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	国、県、市町村、地方公共団体等の機関及び住民票を有する住民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	個人番号を住民票を有する住民の一人ひとりに付番(マイナンバー付番)し、このマイナンバーを国の機関や地方公共団体などが基本的に社会保障、税、災害対策の3分野で活用することにより、スムーズな申告・申請等が可能となる。転職や住居異動してもマイナンバーは変わらないため、年金納付期間抜け落ちなどのリスクがなくなるなどのメリットも期待できる。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H27 年度から】    【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input checked="" type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的な内容 【14】	本庁市民課及び各支所市民生活課においてのマイナンバーカードや通知カード交付・受付常務。また、付番した個人番号を住民票等に反映させ発行する窓口業務。		【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 中間サーバ利用事業 ② 個人番号カード関連業務 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	8,710	12,572	42,976	31,925	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,983	4,030	5,213	3,099	0
		【16】 小計	11,693	16,602	48,189	35,024	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,083	1,238			
	職人 員 の 費	職員人工数	0.62	0.60	0.90	1.00	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			1.17	3.28	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
【17】 小計		3,656	3,286	7,210	11,968		
合計		15,349	19,888	55,399	46,992		

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 中間サーバ利用事業	地方公共団体情報システム機構へのサーバ管理負担金	負担金	千円	2,030	6,421	6,189	4,163
② 個人番号カード関連業務	通知カード、個人番号カード発行	交付数	枚	535	1,386	7,190	5,791
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(個人番号カード交付数)	535	1386	7190	5791
投入コスト合計(千円)	15,349	19,888	55,399	46,992
対象1単位あたりのコスト(千円)	29	14	8	8
コスト評価(対前年比)	***	199.94% (↑)	186.23% (↑)	94.95% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 マイナンバーカードの普及率	累計発行数/市民	%	6.4	6.7	13.1	30.0
			7.8	9.9	21.1	
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担は馴染まない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	人員を補充しマイナンバーカード交付の処理事務に当たるとともに、カード交付に係る専用窓口を設置するなど環境の改善を行った。また、市内数店舗の写真館と連携し、マイナンバーカードの申請をお手伝いする支援事業を実施し、カードの普及促進を図った。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	マイナンバーカードの交付数は順調な伸びを見せているものの、普及が進めば進むほどカードの交付事務のみならず、その後の住民異動に伴う処理事務も当然倍増する。本来、市民課において最も厳正に扱うべき市民の地位や身分の記録及び管理事務に支障をきたす可能性があり、既に原課は業務において逼迫した状態。これを改善するにはマイナンバーに特化した部署を創設し、その部署が中心となり事業を進める必要がある。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	マイナンバーカードの交付においては住基との兼ね合いにより現状では市民課がおこなっている。しかしながら、半永久的に業務が存続することから、今後は然るべき部署においてマイナンバーにかかる業務を牽引すべきであり、早晩それに特化した部署の創設が必要であるとする。	評価責任者 酒井 健三
-------------------	---	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① コンビニエンス証明書交付事業	証明書コンビニ交付サービス(住民票、印鑑登録証明書等)	コンビニ交付件数	件	***	***	1,447	2,000
② コンビニエンスストア証明書交付業務に伴うシステム改修事業	各種証明書を発行するための住基・戸籍システムの改修事業	システム改修	回	***	1	1	1
③ コンビニエンスストア証明書交付業務に伴うコンビニ交付導入テスト	コンビニ交付証明書発行を行う。(実店舗試験)	実店舗試験	回	***	1	6	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	
	対象(玉名市民)	66319	65817	65189	65189
投入コスト合計(千円)	0	28,017	12,793	11,168	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	216.92% (↑)	114.55% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 コンビニ交付利用件数	コンビニ交付利用件数	件	***	***	480	2,000
2 コンビニエンスストア証明書交付業務に伴うシステム改修	コンビニ交付を開始したものと同様の環境を作り出し実際に証明書発行を行う。(実店舗試験)	%	***	100	***	100

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担は馴染まない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	まずはコンビニ交付サービスの本稼働に踏み切ることができた。導入後も市民に対して本サービスの有益な情報を提供することが重要であり、広報誌やHPを通して周知活動を行った。また、コンビニでの証明書発行を円滑に行うため、アプリケーションの保守管理を適正に行い、エラーや不具合発生時には迅速に対応し改善を図った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	コンビニ交付サービスの利用促進に向けて有益な情報を継続的に市民に発信する。また、本サービスはマイナンバーカードの取得者しか利用できないため、カードの普及率を向上させることが急務となる。本市におけるカードの普及率は20%強であり、現時点ではカードの普及率からして費用対効果を求めることは難しいが、相当数普及が図られた段階で利用状況等を基に本事業を検証し改めて是非を問う必要がある。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	本サービスにおいては、一人でも多くの市民に利用していただくよう継続的に周知活動を行うとともに、適切なサービス内容の充実につとめ、求められるニーズに応えられるよう事業を展開していく。	評価責任者 酒井 健三
----------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市税徴収事業		所管課【2】	税務課		
			作成者(担当者)	池田和司		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営				重点 施策【4】
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化				
	施策区分	(2)持続可能な財政運営				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【      年度予定      :      金額      0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 地方税法、市税条例      】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市行政改革大綱実行計画      】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【      】		款	2	項	2
			目	2	細目	3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市財政の基盤である市税収入の確保並びに税負担の公平性の観点から、滞納者には、納税相談等において納税意思の啓発を促し、また、厳正な差押執行・公売等での換価により徴収率向上を図っている。しかし、熊本地震等、不安定な経済環境など滞納者の増加が懸念される。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	納税義務者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	安定的な税確保と納税者の利便性拡大を図るため、特別徴収、口座振替勧奨を行い、徴収事務の効率化を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】      【 H17 年度から】      【 年度～ 年度まで】
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【      】
実施方法【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【      】
事務事業の具体的な内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規滞納者へ催告書発送等を行い、滞納の早期解消を図る。</li> <li>・納税相談等の中で、口座振替の勧奨を行う。</li> <li>・不動産公売の継続実施、不動産公売も行っていく。</li> </ul> <div style="text-align: right;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【15】 事務事業を構成する細事業(4)本  ① 滞納整理事業  ② 納税相談事業  ③ 日常の税徴収事業 </div>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	4,302	4,882	2,117	919
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	1,895	1,889	1,645	0
		その他	76	202	786	4,045
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	6,273	6,973	4,548	4,964
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,276	2,482		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	5.30	4.70	3.95	3.80
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			1.48	1.48
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
		【17】 小計	31,249	25,737	24,516	23,809
	合計	37,522	32,710	29,064	28,773	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 滞納整理事業	納付催告、財産・実態調査、差押、公売等滞納処分全般	差押件数	件	2068	2372	1734	1500
② 納税相談事業	市税滞納者との納税相談(滞納原因把握・納税指導等)	夜間、休日納税相談日数	日	61	62	61	60
③ 日常の税徴収事業	窓口収納、督促状発送、各種証明書作成	督促状発送件数	件	30284	29302	24347	30000

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象( 市民 )	66850	66319	65817	65189
投入コスト合計(千円)	37,522	32,710	29,064	28,773
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	113.80% (↑)	111.69% (↑)	100.05% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 市税徴収率(現年課税分)	収入済額/課税額	%	98 98.9	98 99.0	98 98.4	98
2 市税徴収率(滞納繰越分)	収入済額/課税額	%	23 20.3	23 24.1	23 22.3	23

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の影響により、家宅搜索・差押等の滞納処分を積極的に行うことができなかった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 5.66 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	新規滞納者への催告・滞納処分を強化を行った。債権を中心とした滞納処分の強化を行った。また、不良債権化した滞納繰越分については、滞納処分を継続するか、執行停止するかを判断を適切に行った。滞納処分の件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により前年を下回る結果となった。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	催告と啓発等により納税意識の高揚を図る。滞納処分については、引き続き債権を中心に差押を強化するとともに、差押えた動産・不動産の換価を積極的に行う。財産なし、生活困窮者等と判断した者については、執行停止をし、適切な不能欠損処分を行い徴収率向上に努める。また、固定資産税等の相続人に対しての滞納整理の強化が必要と考える。くわえて人事異動により経験年数の少ない職員構成となったため、将来に向け職員の育成にも力を入れる。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	滞納処分については、債権を中心に差押を引き続き強化するとともに、現年度分については早期の滞納処分執行に努め、高額滞納や新規滞納の抑制に努める。コロナ禍の状況も踏まえ個別の実情や担保力等を慎重に調査し、滞納処分の執行停止など適切に判断しながら徴収事務の向上に努める。また、固定資産の相続人調査を継続的に実施し、所有者不明土地等に係る滞納防止に努める。	評価責任者 富安崇
-------------------	--	--------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 4 main rows: 1. 事務事業の名称, 2. 総合計画での位置付け, 3. 実施の根拠, 4. 事業区分. Includes fields for objectives, implementation details, and financial categories.

《事務事業の目的》

Table with 3 rows: 8. 実施背景, 9. 対象, 10. 意図. Describes the purpose, target audience, and goals of the business activity.

《事務事業の概要》

Table with 3 main rows: 11. 事業期間, 12. 事業主体, 13. 実施方法, 14. 事務事業の具体的な内容. Provides a detailed overview of the activity's schedule, organization, and specific tasks.

《事務事業実施に係るコスト》

Cost breakdown table with columns for H30, R01, R02, R03, and overall plan. Rows include '投入コスト' (Investment Costs) and '職人件費' (Staff Costs) with sub-categories like '事業費' and '職員人工数'.



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 地籍調査事業	土地情報に関する問い合わせの対応	窓口対応及び現地確認等におけるシステム利用件数	件	1575	1663	1500	1500
② 地籍管理事業	土地情報データの更新月数	土地情報データの更新月数	月	12	12	12	12
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象( 市民 )	66850	66319	65817	65189
投入コスト合計(千円)	9,475	10,821	13,386	11,970
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	86.87% (↓)	80.23% (↓)	110.76% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 土地情報に関する問い合わせ解決率	解決数/相談数	%	—	100	100	100
2			—	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 3.75 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	基準点の位置及び座標値を記載した図面を販売しているが、基準点が現地に存在しないことがあり、窓口でのトラブル要因となっている。実際には図面に記載した座標値から復元できるものだが、図面との整合性を問われている。土地家屋調査士等に委託し、基準点の復元作業を行っている自治体もあるため、玉名市としての方向性を見直す必要があるが、復元作業を行った場合、費用対効果は少ない。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	地籍管理は土地の境界確認や地籍更正等において最新かつ正確な土地情報を有しておく必要があり、恒久的な土地課税客体であることから市が直接管理、調査、内容把握を行う必要がある。また、民間委託による地籍図修正により事務の適正・効率化も継続的に実施する必要がある。	評価責任者 富安 崇
----------------------	---	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 横島墓地公苑管理業務	公苑施設の修繕や除草を行う。	修繕・除草回数	回	3	5	5	3
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(墓地使用者)	134	134	134	134
投入コスト合計(千円)	1,055	1,067	1,256	1,103
対象1単位あたりのコスト(千円)	8	8	9	8
コスト評価(対前年比)	***	98.88% (↓)	84.95% (↓)	113.87% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 利用料徴収率	徴収額/全体	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 44.11 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	墓地埋葬法により市町村が墓地経営を行うこととされ、取り付け道も拡幅し、訪問しやすい施設を整備した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	市民からの分譲募集問い合わせもあり、暮らした土地で眠りたいとの要望も少なくない。要望に配慮しつつ今後も落ち着いた帯いの環境を維持していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	横島墓地公苑は、年数も経過し、毎年の除草に加えて、墓地公苑自体の修繕が必要となってきている。利用者から墓地公苑管理料を徴収していることから、墓地の保全のため適切な施設管理を継続する必要がある。	評価責任者 塚本 昭広
-------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	財産管理事業	所管課【2】	岱明市民生活課								
		作成者(担当者)	田原 亮一								
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑦健全な行政運営			重点 施策【4】						
	主要施策(節)	(3)行財政運営の効率化									
	施策区分	(1)公共施設等の効率的な管理運営			<input type="checkbox"/> 該当						
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【                                  年度予定                                  :                                  金額                                  0 千円】										
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市庁舎管理規則、玉名市行政財産使用料条例                                  】										
	<input type="checkbox"/> その他の計画【                                  】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業										
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【                                  】			款	2	項	1	目	5	細目	3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	支所での住民サービスの保持や公務の円滑で適正な執行を確保するには、支所庁舎を適正に管理する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	岱明支所庁舎及びその他庁舎敷地内施設の財産、来庁者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	来庁者が快適で安全だと感じるように、支所庁舎の適正な維持管理を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
	【                                  年度】	【 H17 年度から】	【                                  年度~                                  年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【                                  】			
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【                                  】			
事務事業の具体的な内容 【14】	・庁舎における秩序の維持と保安を行う。 ・支所公用車の管理を行う。 ・行政財産使用料等の歳入管理を行う。		⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本
				① 岱明支所維持管理関連業務
				②
				③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		【16】 小 計	0	0	0	0	
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人員件の費	職員人工数	0.30	0.30	0.10	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
	【17】 小 計	1,769	1,643	548	550		
合 計		1,769	1,643	548	550		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 岱明支所維持管理関連業務	支所庁舎に関連する維持管理を適切に行う。	開庁日数	日	244	240	243	242
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算		
	対象( 市民 )	66850	66319	65817	65189		
投入コスト合計(千円)	1,769	1,643	548	550			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	106.82%	(↑)	297.36%	(↑)	98.70%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 庁舎管理に係る苦情、事故件数	支所に寄せられた庁舎管理に関する苦情等件数	件	0	0	0	0
2			0	0	0	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担がなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	昨年実施された躯体健全性調査でも特に問題はなく、現状のまま継続。経年劣化による設備等の改修は随時行う。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	築年数の経過により、設備等の修繕が徐々に表れている。必要に応じて関係各課と協議しながら来庁者の安全・安心のため、必要な補修を進めている。また、新型コロナウイルス感染対策防止に対応するため関連機器を設置し衛生面も含めた維持管理に努める。	評価責任者 境 順一
-------------------	---	---------------





《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 横島支所維持管理関連業務	支所庁舎に関連する維持管理を適正に行う。	開庁日数	日	242	240	243	242
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象( 市民 )	66850	66319	65817
投入コスト合計(千円)	604	573	595	550
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	104.63% (↑)	95.58% (↓)	107.11% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 庁舎管理に係る苦情・事故件数	支所によせられた庁舎管理上の苦情等の件数		0	0	0	0
2			0	0	0	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成27年度に施設修繕費、維持管理支払業務の本庁管財課への移行集約化を行い、庁舎管理は特に問題なく実施していることから 今後も現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	支所庁舎の維持管理であるので、職員の意識向上を図り、今後も適正な維持管理を継続する。	評価責任者 村上洋治
----------------------	--	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 天水支所維持管理関連業務	支所庁舎の関連する維持管理を適正に行う。	開庁日数	日	244	240	243	245
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象( 市民 )	66850	66319	65817	65189
投入コスト合計(千円)	590	1,095	1,095	1,099
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	53.48% (↓)	99.22% (↓)	98.70% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 庁舎管理に係る苦情・事故件数	支所に寄せられた庁舎管理に関する苦情等件数	件	0	0	0	0
2			0	0	0	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担は馴染まない ) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	施設管理については、特に問題のないことから現状のまま継続する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	多機能型複合施設として非常に利便性の高い、天水市民にとって有益な拠点施設となっている。新設後まだ数年しか経過していないこともあり、維持管理上も特に問題発生は無い。また、コロナウイルス感染症対策としてのサーマルカメラ、足踏み式消毒液スタンドの玄関ロビー設置、飛沫感染防止用アクリルパーテーションの窓口設置、加えて定時の消毒及び換気作業など、来庁者及び職員の感染防止対策・安全管理も申し分のないものと評価できる。	評価責任者 <b>井上 和宏</b>
-------------------	--	-----------------------

事務ふりかえりシート

<<基本情報>>

Table with project details including name, objectives, implementation basis, and accounting classification.

<<事務事業の目的>>

Table explaining the purpose of the project, target audience, and intended outcomes.

<<事務事業の概要>>

Table summarizing project overview including duration, main body, and specific content.

<<事務事業実施に係るコスト>>

Table showing costs associated with project implementation, categorized by investment costs and personnel costs.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 工事等設計及び監理委託業務並びに相談業務	他課から建築工事に関して相談や設計・監理委託があった場合に、工事内容の検討及び工事書類等を作成し監理を行う。	相談件数	件	17	28	19	25
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(相談件数)	17	28	19	25
投入コスト合計(千円)	14,513	18,337	18,286	18,540
対象1単位あたりのコスト(千円)	854	655	962	742
コスト評価(対前年比)	***	130.36% (↑)	68.05% (↓)	129.78% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1						
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】 【24】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	概ね計画通り発注を行うことができた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	年度ごとの相談件数は安定しておらず緊急的に災害復旧事業等が追加されることもあり、ある程度の余裕を持ちながら計画的に各業務を進めていきたい。また、主管課の準備不足等による発注計画の変更や追加が発生し対応に苦慮することがあるので注意を求めている必要がある。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		
総合判定	B		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	計画していた業務や突発的に入ったコロナ対策に関する設計業務など、全ての業務に対し遅滞なく対応できた。年々財政が厳しくなる中、効率的かつ効果的に有効な施設管理及び整備のため、これまで以上に所管課と連携を密にし、現状のまま継続する。	評価責任者 福島 修生
----------------------	--	----------------